



World Conference on Disaster Reduction

18-22 January 2005, Kobe, Hyogo, Japan

Title	Presentation of the results of "Research Committee on Kobe Ground and Disaster Mitigations"
Organizations	Research Committee on Kobe Ground and Disaster Mitigations
Speakers	<ul style="list-style-type: none">・ 沖村 孝 (神戸の地盤・減災研究会研究委員長。神戸大学都市安全研究センター教授)・ 田中 泰雄 (神戸大学都市安全研究センター教授)・ 南部 光広 (応用地質株式会社 神戸支店長)・ 八谷 誠 (中央復建コンサルタンツ株式会社 測量・地盤系グループ統括リーダー)・ 末廣 匡基 (株式会社阪神コンサルタンツ 技術開発部副部長)
Report	<p>阪神・淡路大震災を教訓とし、産学官の連携により発足した「神戸の地盤研究会」は、高密度地盤データベース「神戸 JIBANKUN」の普及や、兵庫県南部地震の揺れの再現、将来起こり得る地震による被害の予測手法の構築など、一定の成果を得た。その後、平成 16 年には“減災”の思想を加え、「神戸の地盤・減災研究会」へ発展的に移行した。</p> <p>これを機に、今回の報告会では、まず『「神戸の地盤研究会」の 5 年間の研究成果報告』を地盤特性図作成分科会・液状化分科会・地震動分科会からそれぞれ行った。</p> <p>そして、田中教授より『新潟県中越地震の被害報告と今後の研究活動への活用』として、新潟県中越地震による被害状況の写真や、3次元シミュレーションを用いて報告した。</p> <p>最後に、沖村教授(神戸の地盤・減災研究会研究委員長)より『「神戸の地盤・減災研究会」の研究状況・今後の方向性』について報告した。その中では、「神戸から最先端の地盤情報発信を継続して行う」「動的特性、地盤特性を評価した信頼度の高いハザードマップの作成を目指す」「すまいの耐震化促進のインセンティブ情報を発信する」という研究目標が示された。</p> <p>(482words)</p>
T E L	078-322-5031
F A X	078-322-6009
E- m a i l	chiikiseisaku@office.city.kobe.jp